

はばだけり！ Jサンダーズ広島



久原 大輝

6月から7月中旬にかけて、われわれはバレーボール教室に参加させていただいている。今季は例年よりも多くの学校や地域からご依頼をいただき、競技の楽しさや選手の迫力をお伝えする貴重な時間になっている。参加者は



オーバーパスの指導をする阿部大樹選手

(6月20日)

指導者目線で考える

未経験者やカテゴリーでトップを目指すチームなどさまざま。いろいろな方々とともに汗を流している。

われわれが提供する練習メニューは、参加者のニーズに合わせて、ウォーミングアップから選手が中心となつて組んでいる。もちろん、普段はプレーをすることが仕事だが、選手自らがアイデアを出して練習メニューを考えて実践することは、必ずコート上でのプレーにも役に立つと思う。

参加者の目線に立って、バレーボールを楽しみつつ、スキルの上達につなげられる練習内容を考える。選手たちにとって指導者目線でバレーボールを考える良いきっかけとなっている。基礎を重点的に教えるのか、ゲーム形式の練習を増やすのか、ポジションごとに特化したスキルを磨くのかなど、いろいろなアイデアが選手の中から出てくる。私自身も彼らが考えた練習を見ることが、大きな楽しみとなっている。

(J-T広島マネジャー)